



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

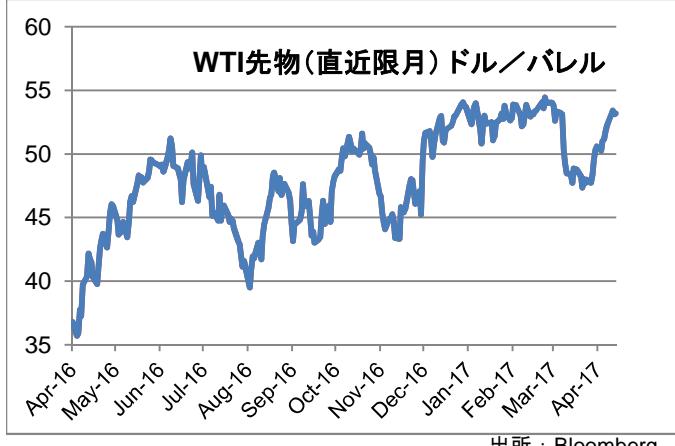
				4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot		3.1320	3.1370	3.1260	3.1440	+0.0180
	BRL/JPY	Spot		35.42	34.94	34.88	34.71	-0.17
	EUR/USD	Spot		1.0597	1.0607	1.0666	1.0617	-0.0049
	USD/JPY	Spot		110.90	109.63	109.03	109.14	+0.11
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)		10.04	10.01	9.96	9.97	+0.0146
	Future	1Year(p.a.)		9.45	9.43	9.44	9.46	+0.0232
	On-shore	6MTH(p.a.)		2.016	2.068	2.047	2.010	-0.037
	USD	1Year(p.a.)		2.222	2.239	2.208	2.176	-0.032
株式	Bovespa指數			64,650.00	64,359.79	63,891.68	62,826.28	-1,065.40
CDS	CDS Brazil 5y			221.46	223.95	226.22	225.89	-0.33
商品	CRB指数			187.620	187.996	187.382	187.77	+0.387

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.12から3.16の間でもみ合う展開。
- 週初のレアルは3.1500で寄り付いた。週前半は政治家に対する汚職捜査の拡大を受けて上値の重い動きが続いたが、12日の米トランプ大統領によるドル高牽制発言を受けてドルが下落。3.15台だったレアルは高値3.1170まで買われた。週後半にかけては汚職捜査拡大への警戒感から再び軟調な動きとなり3.14台へ下落、結局3.1440で越週した。12日引け後に市場の予想通り▲1.00%の利下げが実施されたが相場の反応は限定的だった。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.47%から0.41%へ下方修正、2018年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2017年が4.10%から4.09%へ、2018年は4.50%から4.46%へ下方修正された。為替レートは2017年末が3.25から3.23へ、2018年末は3.40から3.37へレアル高方向に修正された。
- 11日、最高裁の汚職捜査(ラバ・ジャット作戦)報告官であるファキン判事は、連立与党所属議員を含む98人に対する捜査を許可した。政治的影響は未知数ながら、公表されたリストに含まれる政治家や政府高官は事前の予想を上回る規模となっており、反腐敗や現体制への抗議活動を加速させることができると予想されている。
- 12日に発表された2月の広義小売売上は前月比+1.4%となり4ヶ月連続の前月比増加。景況感の改善や伯中銀による利下げを背景に消費が底入れしつつあることを示唆した。
- 12日引け後に発表されたCOPOMでは、市場予想通り利下げ幅を拡大、▲1.00%の利下げを決定し、政策金利を11.25%とした。声明文ではインフレ低下を受けて1月、2月会合よりも緩和ペースを速めたことは現時点で適切と言及。政策金利について2017年末の見込みを8.5%とし、2018年末まで同水準にとどまるとした。
- 尚14日はイースターによる休日のため市場はクローズ。

3.今週のチャート&ハイライト



WTI先物が約1ヶ月振りの水準を回復

先週、米によるシリア攻撃で上昇した原油先物市場が堅調に推移している。今週、リビア最大の油田が先月に続いて操業停止となったほか、サウジアラビアがOPECによる減産合意延長を支持していると報道されたことで、WTI先物は3月上旬以来となる1バレル53ドル台まで一時上昇した。米国の石油生産が約1年振りの高水準となつたことで下げる場面も見られたが、13日時点では53ドル近辺の水準を維持している。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A
Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.05–3.15

来週のレアルは引き続き旺盛な資金流入と汚職捜査を巡る懸念を背景に方向感に乏しい値動きが続くものと予想する。来週初17日朝には今週行われたCOPOMの議事録が公表される。声明文では現時点で▲1.00%の利下げが適切とされたが、次回会合(5月30日、31日開催)で同水準の利下げが実施されるかは市場でも見方が分かれしており、今後の金融緩和ペースを見る上で議論の内容に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEサービス部門売上高 前年比	-6.5%	-5.1%	-7.3%
米	PPI 最終需要(前月比)	0.0%	-0.1%	0.3%
米	新規失業保険申請件数	245k	234k	234k
米	ミシガン大学消費者マインド	96.5	98.0	96.9

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	4/17	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Apr	-0.64%	0.05%
ブラジル	4/17	経済活動(前月比)	Feb	0.50%	-0.26%
ブラジル	4/17	貿易収支(週次)	Apr 16	--	\$1596m
ブラジル	4/17	登録雇用創出合計	Mar	2785	35612
ブラジル	4/17	税収	Mar	100819m	92m
米	4/17	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Apr	15.0	16.4
米	4/17	NAHB住宅市場指数	Apr	70.0	71.0
米	4/18	住宅着工件数	Mar	1253k	1288k
米	4/18	鉱工業生産(前月比)	Mar	0.5%	0.0%
ブラジル	4/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Apr	-0.65%	0.08%
ブラジル	4/20	FIPE CPI-週次	Apr 15	0.44%	0.31%
ブラジル	4/20	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Apr	4.48%	4.73%
ブラジル	4/20	CNI産業信頼感	Apr	--	54.0
米	4/20	フィラデルフィア連銀景況	Apr	25.0	32.8
米	4/21	中古住宅販売件数	Mar	5.60m	5.48m

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身で判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。